第12回　「市民と議員の懇談会」

報　告　書

平成 29 年 11 月 7 日、9 日、11 日

（市内5会場）

奥州市議会市政調査会

目　次

ページ

1　実施要領…… 1〜 3

2　開催状況…… 4

3　各班報告書

第１班報告・概要…… 5〜 8
第２班報告・概要…… 9〜13
第３班報告・概要…… 14〜25
第４班報告・概要…… 26〜29
第５班報告・概要…… 30〜33

4　写真…… 34〜36

5　開催チラシ…… 37〜38

平成29年度市民と議員の懇談会実施要領

１　趣　旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

２　実施主体

奥州市議会市政調査会

【第12回　市民と議員の懇談会】

３　内　　容

(1) 報告事項

①９月議会の報告

(2) 懇談内容

①テーマ：「子ども子育て支援について」

②議会に対する意見要望、地域における諸課題等

４　開催月日、会場

月　日	開会時間	班	会　　場
11月７日（火）	18:00～20:00	1	江刺総合支所　多目的ホール（１階）
		2	衣川保健福祉センター　多目的ホール
11月９日（木）		3	前沢総合支所　401大会議室（４階）
		4	胆沢総合支所　大会議室（３階）
11月11日（土）	10:00～12:00	5	水沢南地区センター　和室（２階）

５　班編成

別紙のとおり

６　周知方法

(1) 市議会だより、ホームページに掲載し周知する。

(2) 地区センター及び地区振興会長を通じて、地区内各種団体に呼びかけてもらう。

(3) 各議員は参加の声がけを行う。

７　今後の進め方

(1) 平成29年10月下旬、市政調査会を開催

① 当日の進め方（９月定例会の報告、テーマについて話題提起）

② 班ごとの打合せ（役割分担確定）

［班長、進行係、説明係、記録係、受付係］

(2) 「市民と議員の懇談会」開催［11/7,9,11］

(3) 班ごとの取りまとめ［期限　11/15（水）］

・各班は報告書（懇談会概要）を作成し、議会事務局へ提出

(4) 「市民と議員の懇談会」報告会を平成29年12月１日（金）に開催

平成29年度「市民と議員の懇談会」班構成

①常任委員会：総務　７人、教育厚生　７人、　産業経済　６人、　建設環境　６人
②出　身　区：水沢区９人、江刺区６人、前沢区４人、胆沢区６人、衣川区１人
③会　　派：奥和会９人、市民クラブ５人、日本共産党４人、新世会４人、公明党２人、無会派２人
【常任委員会、（出身区）、（会派）】

１班（江刺区担当）	２班（衣川区担当）	３班（前沢区担当）	４班（胆沢区担当）	５班（水沢区担当）
教育厚生（水沢）（新世） **菊　池　利　美**	教育厚生（江刺）（共産） **千　葉　　敦**	産業経済（前沢）（新世） **菅　原　圭　子**	教育厚生（前沢）（奥和） **鈴　木　雅　彦**	建設環境（江刺）（市民） **廣　野　富　男**
産業経済（江刺）（奥和） **及　川　　佐**	建設環境（前沢）（公明） **飯　坂　一　也**	教育厚生（水沢）（奥和） **菅　原　由　和**	総　　務（水沢）（新世） **佐　藤　　洋**	産業経済（水沢）（奥和） **千　葉　正　文**
教育厚生（胆沢）（市民） **髙　橋　政　一**	総　　務（胆沢）（奥和） **小野寺　隆　夫**	総　　務（江刺）（市民） **佐　藤　郁　夫**	建設環境（水沢）（奥和） **中　澤　俊　明**	総　　務（胆沢）（新世） **加　藤　　清**
総　　務（水沢）（公明） **阿　部　加代子**	産業経済（水沢）（市民） **千　葉　悟　郎**	建設環境（胆沢）（奥和） **藤　田　慶　則**	総　　務（胆沢）（共産） **今　野　裕　文**	教育厚生（江刺）（奥和） **中　西　秀　俊**
産業経済（衣川）（共産） **菅　原　　明**	総　　務（胆沢）（奥和） **渡　辺　　忠**	教育厚生（水沢）（無） **内　田　和　良**	産業経済（江刺）（市民） **佐　藤　邦　夫**	建設環境（水沢）（共産） **及　川　善　男**
建設環境（前沢）（無） **小野寺　　重**				
事務局（家子局長）	事務局（千葉主任）	事務局（高橋係長）	事務局（千田次長）	事務局（菊池係長）

市民と議員の懇談会開催状況

年月日	事　業　名		備　考	
第12回「市民と議員の懇談会」〈５会場〉 テーマ：子ども子育て支援について		男性	女性	計
11月７日（火） 18:00～20:00	江刺総合支所１階　多目的ホール	20	3	23
	衣川保健福祉センター　多目的ホール	11	4	15
11月９日（木） 18:00～20:00	前沢総合支所４階　401大会議室	11	0	11
	胆沢総合支所３階　大会議室	5	2	7
11月11日(土) 10:00～12:00	水沢南地区センター２階　第１・２和室	19	6	25
合　　計		66	15	81
第11回（H29.2）５会場		127	10	137
第10回（H28.2）５会場		267	26	293
第９回（H27.11）５会場　（消防団各方面隊対象）		146	0	146
第８回（H27.11）10会場		132	9	141
第７回（H26.11）20会場		258	31	289
第６回（H25.11）５会場　（女性団体対象）		0	94	94
第５回（H25.6）10会場		136	7	143
第４回（H24.7～8）30会場		399	55	454
第３回（H24.2）10会場		188	18	206
第２回（H23.7）10会場		167	18	185
第１回（H22.10～11）10会場		116	18	134

第 12 回「市民と議員の懇談会」 第 1 班報告書

1　開催月日	平成 29 年 11 月 7 日（火） 午後 6 時 00 分　から　午後 8 時 03 分
2　会場	江刺総合支所多目的ホール
3　参加者数	23 名 （内訳　男性 18 名　女性 3 名　議員・職員 2 名）
4　出席議員	班長　小野寺　重　議員 進行係　阿部　加代子　議員 説明係　菅原　明　議員　髙橋　政一　議員 記録係　及川　佐　議員 受付係　菊池　利美　議員
5　欠席議員	議員 議員

6　報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7　反省点、次回の課題等

平日の夜なので女性の参加が少なかった。男性も比較的年齢の高い層が多く、若い層の参加が必要であり、開催の仕方も今後改善必要。

第12回「市民と議員の懇談会」概要　第1班 平成29年11月7日(火) 開催

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
	●子ども子育て支援について① 奥州市立教育・保育施設再編計画は、保育ニーズに応えている。むしろもっと早くすべき。子育て支援事業を早くすべき。産前・産後ケアを充実すべき要望の掘り起こしが必要。子育て支援について平成25年アンケート調査結果と当事者の話を聞いたほうがよいのでは。	・一人で悩まないような態勢をしっかり対応したい。産後について母子手帳交付時に相談活動を進めている。市は包括支援センターの設置に取組んでいる。しっかりと現場の声を市も議会も聴くように態勢を整えたい。 ・定員を超えている保育園もあれば少ない保育園もある。幼稚園では少ないところが多い。アンバランスを調整するための今回の案である。	
	●子ども子育て支援について② 羽田では幼稚園や小学校がなくなるとの不安を持っている方もいる。まちづくりの観点としてこれでいいのか疑問がある。小学校の再編は地域の声を聞いて進めてほしい。	・羽田小学校については存続する。 ・まちづくりの観点から今後教育委員会では地域に相談・話合いをしながら進めると思う。なお議員は再編討議には入っていない。	
	●子ども子育て支援について③ ●９月議会報告関係① ・新設の中山間地の保育所を一か所にすると送迎の時間がかかる。送迎のバスが運行できるのかどうか。 ・わくわく条例は大賛成。 ・阿部加代子議員の核兵器廃絶の請願に反対意見の理由を。	・送迎等についても皆さんの意見を聞きながら当局は進めると思う。 ・保育園等を選ぶための希望を出しているのでそこから選ぶことができ、各自が自分にあった施設を選ぶことができる。公立の幼稚園等の送迎は父母等が行ってきたので今後ともそのようになると思う。 ・条約は素晴らしい内容であると思う。ただし核兵器を持っている国が入っていないので実効性に問題があり、核兵器を持っている国を含め賢人会議で話を進めていくべき。外交防衛は、市議会と	

		しての権限はない。	
	●子ども子育て支援について④ 保育園と小学校との学区との違いが出てくるのでは。	・保育園でもいろいろな地域から集まっており運営している。 ・でき得るならば保育園等と小学校学区の一緒の方が良いと思う。幼稚園・保育園の統廃合についての意見を市・議会等に発言してほしい。小学校の再編は今後の動きをみて検討する必要がある。	
	●地産地消条例案① ●子ども子育て支援について⑤ ・地産地消を推進する地域内と地区外との区別は。健康に良い等の視点を入れては。 ・幼児教育のあるべき姿を明確にしてから進めるべきではないか。	・地域内外の区別、履歴を明確に記載する。今後策定する計画ではもっと具体的な方向が出る。健康についてはそれを前提としているが、今後の推進計画策定の際に強調したい。 ・おかれている時代が異なるが、今日の時代としての幼児教育のあり方を市の担当に対し、考慮しながら進めることを伝える。	
	●地産地消条例案② ●子ども子育て支援について⑥ ・地産地消の産地マークを入れてはいかがか。 ・小学校の再編計画を検討する際は若い人を入れた方が良いのでは。	・産地マークを今後検討していく。 ・若い人の再編計画への参加については当局に伝える。	
	●子ども子育て支援について⑦ 幼稚園・保育園の違いを明らかにしてほしい。受け入れ態勢の違いも。	認定子ども園は、保育園・幼稚園機能を持っている。	

	●９月議会報告関係② 　新市立病院の議会の情報を。ILCについて一関ファクトリーで見られるように、一関市と比べ奥州市は出遅れているのでは。	・国、県の地域医療構想について検討している。病床数の削減等を含め検討が必要である。市では新市立病院設立基本構想の半分が出ているが、基本計画はまだ示されていない。有識者会議では三師会が不参加、日程が遅れている。 ・奥州市議会のILC議員連盟ではPRパネル等を学校で展示する等、市民一丸となった取組みも進めている。	
	●９月議会報告関係③ 　議会改革の動きは具体的に見えないが。Ipadは単に省力化ではないのか。自治を高める動きが必要では。自治区廃止後の「地域会議」で振興会に頼っては形骸化するのではないか。自治の精神をもとに新たな発想で市民的議論をすべきでは。	FM放送等は議会改革検討の一つの表れ。今後検討結果についてできるだけ公開の努力をしたい。	
	●９月議会報告関係④ ・視察の内容はコストパフォーマンスが悪いのでは。地産地消についての視察は分かりやすかった。	常任委員会等の視察は、本会議で報告書している。視察の効果は、具体的に条例制定等でも出てくることもあるが、議員個人では一般質問等で発表する場合もあり一律ではない。	
	●その他 　40年後、50年後を見据え、今の子供たちへの負担にならないよう負債等について考えていただきたい。		

第 12 回「市民と議員の懇談会」 第2班報告書

1　開催月日	平成 29 年 11 月 7 日（火） 午後 6 時 00 分　から　午後 8 時 02 分
2　会場	衣川保健福祉センター　多目的ホール
3　参加者数	15 名 （内訳　男性　10 名　女性　4 名　　議員・職員　1 名）
4　出席議員	班長　　小野寺　隆　夫　議員 進行係　　千　葉　悟　郎　議員 説明係　　千　葉　　敦　議員　飯　坂　一　也　議員 記録係　　渡　辺　　忠　議員 受付係　　千　葉　　敦　議員（説明係兼務）
5　欠席議員	なし

6　報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7　反省点、次回の課題等

・今回のテーマが「子ども子育て支援について」であるにもかかわらず、子育て世代の方々が参加されなかったのは残念であった。
・平日の、しかも夕食の準備等、子育て世代の母親たちにとって最も多忙な時間帯に設定したことに反省すべき点があった。
・この世代の方々の意見を聴くためには、保護者会等の会合の場へ、こちら側が出向いて行くぐらいの配慮が必要であると感じた。
・または、案内書に、参加できない方のために、意見要望を提出できる配慮も必要ではなかったか。

第 12 回「市民と議員の懇談会」概要　第2班　平成 29 年 11 月7日(火) 会場:衣川保健福祉センター　No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	【子ども子育て支援について】 今日の懇談会をこの時間帯に開催したのはなぜか。子育て世代のお母さん達には出席できない時間帯である。	今後の反省点とし、次回に生かしたい。	
2	女性の方々の生の声を聴こうとしていないのでは。衣川区あゆみ園に入れないお母さんたちの声を聴くべきであった。保育所の抱える問題を解決すべき。保育士を採用して問題解決すべきである。奥州市には職に就かない人がたくさんいる。	時間帯の設定の仕方について、申し訳なかった。 個々の議員についても、機会をつくって直接声を聞いていきたい。	
3	夫妻と孫たちと同居を始めた。あゆみ園の事情は知っている。あゆみ園の前を通りながら、衣川で午前、午後は水沢へと移動しながら子育て支援センターを利用して日中を過ごしている状況がある。今日出席しない子育て中の方がたくさんいる。保育園に入れないと、もう諦めている状況。社会復帰したいが、子どもがいるために職に就けない人もいる。	保育士不足については当局に質している。合併してから職員が減少している。	
4	職業と保育士の立場を理解してやるべきである。 早く保育所に入所させてほしい。 子育て支援センターの現況、現場を議員にも直接見ていただきたい。		
5	子育て中の若いお母さんたちとの懇談の予定はいつなのか。大事なことである。	次の議員任期以降に直ぐに行うべき。引き続き、今後につなげていきたい。また、議員個々に地元などでやられている人もいると思う。	
6	今日の懇談で出された意見を市に問いかけることで子育て支援に係る予算は増えるのか。 今日は関係する父母の出席がない。来ないということは市に期待していないということ。	市の年間予算があって、その中で子育てにどんなことを費やしていくのかになると思う。	

第 12 回「市民と議員の懇談会」概要　第2班　平成 29 年 11 月7日(火) 会場:衣川保健福祉センター　No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	保育需要を抑制するという視点もある。家庭で子育てしやすい環境にすることが待機児童を減らすことにもつながる。 ・保育のショートステイをできる環境をつくること。 ・市は子育て支援金の制度を立ち上げ、保育所に入所しない家庭の父母に返還すべき。保育所を造るよりも安い。		
8	保育のショートステイは衣川にもあるはず。母親の目的は、共同生活に慣れさせることや、同世代と遊ばせることである。		
9	年齢により違いがある。０～２歳児以上が待機児童として多い。この原因が何かをつかむこと。		
10	少子化、核家族化により、周りに遊び相手となる子どもがいない。今と昔の生活様式が変わっているのも大きな原因なのかもしれない。 昔は家族や地域で子どもを育てた。		
11	「奥州市立教育・保育施設再編計画の概要」４ページの資料の数字は、教育ありきで検討した資料ではないか。若い夫婦たちの問題では。 この数字を見て議員はどう思うか。	教育関係者が再編計画に入っている。待機児童をまずなくすことに力を入れて検討中。議会としても当局に早期実現を求めていく。	
12	若い人たちが子育てに安心して取組めるように当局に働きかけるのが議員の仕事。強く求めてほしい。 職員の定数を多くしてほしい。いつまでに、何をどうするかを議会、当局に求めたい。	保育所の需要と利用のバランスを解消するために、認定こども園等を計画中。０～２歳以上の待機児童が途中で入りたい人がいる。枠を広げる仕組み、制度にしていきたい。	
13	議員たちは、来年４月から待機児童０を目指すくらいの意気込みを持つべきである。地域住民の切迫した状況をしっかり伝えてほしい。	伝えたい。	

第 12 回「市民と議員の懇談会」概要　第2班　平成 29 年 11 月7日(火) 会場:衣川保健福祉センター　No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
14	あゆみ園には職員が 40 人いるが、うち正職員は７人。職員の中で比較すると、臨時職員が圧倒的に多い。非正規の職員にも待遇を良くしていただきたい。 キレる子どもが増えているが、食事の影響もあるのかもしれない。栄養士もいるはずなので、給食の食糧費はケチらずに、安く仕上げないようにしてほしい。また、仕入れる食材についても十分注意してほしい。	給食に相応しくない食材が提供されているとすれば問題である。調査してみる。	
15	小学校でも給食が不味いと言われる。その後改善されたかわからない。給食センターについても注意してみていてほしい。	今度前沢区に給食センターを造る予定である。	
16	胆沢病院に入院した時に知ったが、県立の胆沢病院と江刺病院には 24 時間実施している保育所があり、緊急時いつでも対応できるようになっている。やる気があればできる。 現場は非正規職員に支えられている部分もあるので非正規職員の問題についても考えるべき。	看護士確保のため、水沢病院にも院内保育所を設けている。	
17	今までのテーマを見て、いつまでにどうするのか、今後の取組について、帰る前にそれぞれの議員から発表してほしい。 市広報誌に住所変更に伴う手続きについて掲載されていたが、これには職員の費用がどれくらいかかっているのか。予算がない、のではなく、使い方がまずいのではないか。区をなくすことにどれくらいの費用がかかるのか。不必要なところに予算を費やしている。許されないこと。		
18	水道料金について、水沢区の利用について確認してほしい。合併後、水道料金は各区全部一緒になった。 また、江刺区の工業団地の水道料金はどうなっているか。水沢の水道料金は据え置きを含め、市内の料金一律になっているのか。	水道料金は合併以降減額になっている。 市として、企業誘致に対しては優遇措置がされている。工業用水は単価が違うため料金が違う。他は県で負担しているが、市は企業に補助している。	

第 12 回「市民と議員の懇談会」概要　第2班　平成 29 年 11 月7日(火) 会場:衣川保健福祉センター　No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
19	衣里幼稚園には園児が 17 人しかいない。保育所に入れない子どもは、衣里幼稚園の広い園庭を横目に、子育て支援センターを何か所もはしごしている。支援センター利用を楽しんでいる親も多くいるが、移動中に交通事故などが起こってからでは遅い。		
1	**【地域の諸課題について】** 衣川支所の建設は予定通り進んでいる。支所建設を地元でも喜んでいる。 一方、旧庁舎、公民館はどうなるのか。解体予算がみえないので議会で検討してほしい。また、隣に社会体育館があるが、備品の老朽化が激しく使用できないものもある。	前沢区で廃校になった小学校７校のうち、活用されているのは旧校舎２校のみという状況である。統合後の旧校舎の利活用についてはまだ見通しが立っていない。今後の大きな課題である。	
2	スマートインターチェンジ建設の進捗状況は。平成 30 年に開通するが、インター周辺の土地活用はどのようになっているか。産業発展の大きなチャンスである。	周辺地域の活用策は具体には未だ進んでいないのが現状である。今後、活用策について様々な話題として出てくるだろう。今後の検討課題である。	
3	若い世代が就労する場が確保されることも必要。奥州市を元気づけるような話題作りをお願いしたい。		
4	高齢化が進み、運転免許証の返納が多くなってきている。交通弱者への対策として何か考えているか。大きい問題であるので検討してほしい。	効果が出ている他地区の事例として、前沢区のデマンドタクシーがある。この問題には一定の行政費用をかけないと解決できないと考えている。喫緊の課題として捉えている。	
1	**【おうしゅうわくわく条例(案)について】** 文章が多く長いので難しそう。何を目指すのか、訴える部分が弱い。農業振興策を考えるとキャッチフレーズが弱い。検討してみてほしい。		
2	農家の６次産業化への取組は良いが、衣里地区には加工施設がなくて困っている。例えば、春先のイノシシ被害対策として加工や処理ができるような、身近で誰もが気軽に利用できる加工施設がほしい。		

第 12 回「市民と議員の懇談会」第 3 班報告書

1 開催月日	平成 29 年 11 月 9 日（木） 午後 6 時 02 分　から　午後 8 時 34 分
2 会場	前沢総合支所　401 大会議室
3 参加者数	11 名 （内訳　男性　10 名 女性　0 名 議員・職員　1 名）
4 出席議員	班長　内田和良 議員 進行係　佐藤郁夫 議員 説明係　菅原由和 議員　菅原圭子 議員 藤田慶則 議員 記録係　菅原由和 議員　藤田慶則 議員 受付係　菅原圭子 議員　佐藤郁夫 議員
5 欠席議員	議員 議員

6　報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7　反省点、次回の課題等

(1) 参加者は 11 名と少なかったが、終了予定時間を 30 分超過するほど活発に質問や意見が出されたほか、今後の議会に対する期待の声も多く出された。

(2) 特に、保育所や幼稚園の経営者、園長の参加もあり、保育士の確保対策等について専門的な見地から意見が出され、大変有意義であった。

(3) しかし、今回、子ども子育て支援をテーマにしたことから、保護者や子育て世代等の若年層の参加を期待していたものの参加者は全くなかった。事前に保育所や幼稚園のＰＴＡ、子育て関係施設や団体等に参加を依頼する等、工夫も必要だったのではないか。

(4) また、例えば、子ども子育てがテーマであれば、保育所や幼稚園、小学校と連携した懇談会を開催する等、懇談テーマに応じた関係施設や団体との連携、あるいは特定の施設や団体を対象とした懇談会の開催を検討してはどうか。

(5) 今回の懇談会後間もなく、参加した市民の方から懇談会の御礼と今後の議会活動に対する激励のはがきを参加した全議員に頂いた。大変感激をしたとともに今後の議会活動の励みにしていきたい。

第12回「市民と議員の懇談会」概要　第3班　平成29年11月9日(木)　会場 前沢総合支所　No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
	＜子ども子育て支援について＞		
1	今、７００人を超す世帯が就学援助を受けている。支援を受けなければ、学用品も買えない、修学旅行にも行けない子どもがこれだけいるということを議員はしっかりと把握をするとともに、もっと勉強をして議会で対策を検討する必要がある。子どもたちのためにもいいまちを作って欲しい。	就学援助や生活保護世帯のほか、表にはみえない子どもの貧困もあると言われており、どのように実態把握をしていくかが課題である。今後、それらの実態把握とともに、実態に即した対策をしていかなければならない。	
2	今日の懇談会で、子ども子育て支援として、教育・保育施設再編計画の概要の説明があったが、ピントが外れており不満である。子育て支援というものは、そんなものではない。 例えば９月議会で、子育て包括支援センターの進捗状況を質問している議員がいるが、これが何故進まないのか。こういう問題を行政と議論をして具体的に物事を進めるということが、子育て世代の力になり、将来を担う子どもを育てることに繋がる。 奥州市の子育ての大きな柱はあるのか、それは何なのか。議員はそれをしっかりと認識した上で、その柱に向かってチェックと議論をして欲しい。	意見として伺う。 子育て包括支援センターの進捗状況について説明	
3	市では色々と子育て施策をやっているというが、市の広報には、少なくとも 28、29 年度分を全部見たが、「市の子育てはこうやっている」というものが一回も掲載になったことはない。なぜ市の広報に掲載して「安心して子育てをして下さい」と言わないのか。何のための広報なのか。議会でも意見をして欲しい。	意見として伺う	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	前沢小学校周辺に家がどんどん建ってきており、若い人達が増えている。子どもに対する医療費補助等の市でやらなければならない施策があると思うが中々それが見えない。 今日の懇談会では、議員が奥州市の子育てに対して、どのような後押ししていくのか、議員の案として、若い人たちに対する支援策を示してくれるものと期待してきたが、その辺がさっぱり見えない。 幼稚園や保育園などに足を運び、保護者がどのような子育て支援が必要なのか等、議員が出向いて話しを聞く努力をすべきだ。そして議会としての案を取りまとめて市に提言をしていくべきである。	若い人達の意見は非常に貴重である。このような懇談会等で頂いた意見を今後どのようにしていくのか、議会としての案を取りまとめるまでには至っていないのが現状である。今後、議会として政策提言ができるような仕組みづくりをしていくとともに、それを基に市民と議論をしていく必要もある。 今回の市民との懇談会では、水沢南地区センター会場での開催日時を土曜日の午前中に設定し、託児所も設けることにしている。 若い人達はそれぞれ忙しく、どの時間帯も話しを聞くことが難しいと感じているが、小さい部落単位や保育所単位などで話しを聞くこともしていかなければならない。	
5	説明のあった再編計画は、教育委員会でつくったもので自分も分かっている。今日の懇談会では、これに対する議会の対案であったり、議員はこういう意見だということがあれば良かったのではないか。	意見として伺う。	
6	「子育て環境ナンバーワンを目指している」という言葉が非常にいいなあと思った。しかし、子育て環境ナンバーワンとはどういうことなのか。どこと比べてナンバーワンなのかということを考えさせられる。 掛け声だけではなく、ここを目指すことによりナンバーワンになるといったビジョンを明確にすべきだと感じている。 また、子育てが負担だと思っている方々がいるが、大変だけれども子どもを育てることが本当に楽しい、やりがいがあると思ってもらえるようなナンバーワンにならなければならない。	意見として伺う。 子育ての楽しさをみんなで作っていくことが大事なことであり、地域の雰囲気づくりが必要ではないか。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	待機児童の問題は、０～３歳の部分が大きい。この親たちが保育所にあずけなくてもいいような施策を考えていかなければならない。 議員は、この再編計画策定委員会で出された意見をチェックする必要がある。例えば、前沢は２つの認定子ども園になることになっているが、今の保育所を使うということになれば、狭くて良い環境ではない。お金がないから仕方がないではなく、良い環境で育てられるように、ぜひチェックを厳しくして欲しい。	再編計画については、各地区で説明会を実施したり、区毎に検討組織が設置されている。今後、議会でもしっかりとチェックをしていかなければならない。	
8	自分の身内にも保母を辞めた人が２人いる。現実問題として、保母等の職員の確保には大変苦労をしていると思っている。 辞めたり、せっかく資格を持っていながら保母にならなかったりする人達の対策をどうしていくのかが、この再編計画には含まれていない。 施設を作っても人がいなければ保育はできないと思うが、議員はどのように考えるか。	人材不足は、待機児童の問題にも大きく関わっており、それぞれの議員からも人材確保対策に関する質問や意見が出されている。 職員の処遇・待遇の改善が一番大事なところであるが、中々改善には結びついていない状況である。	
9	議会だよりＰ１４の「幼稚園教諭の確保対策」に関する一般質問に対して、市長は「確保は非常に厳しい。幼稚園職員のつてに頼るしかない」と答弁している。職員についてのある人ない人があり、つてのない幼稚園はどうするのか。人材確保も財源なので簡単にはいかないと思うが、この答弁だけでは問題ではないか。 奥州市だけが苦しいのか、他はどのようにしているのか等を調査する必要があるのではないか。	第２次職員適正計画というのがあり、保育士等は辞めた方に対して１／１採用をすることになっているが、これだけでは全く足りない。 臨時が多く正職員化されていないのが大きな問題であり、ここを改善していかないと人員不足は解消していかない。 子育てナンバーワンを言いながら保母がいないではダメだ。議会でもしっかりとやっていかなければならないところである。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
10	胆沢区の中学校が統合になり初めての冬を迎える。前沢中学校の統合時にも経験をしたが、特に冬の登校には問題があり苦労をした。地域の声も十分に聞いた上で、登下校に遺漏のないように気配りをお願いしたい。 関連して、前沢、胆沢の学校統合に何か問題はないのか。あるのであれば今後どうしていくのかを議会の役割として市当局と議論をして欲しい。	意見として伺う。	
11	保母や職員の確保のためにも身分を保障して欲しい。将来が保障されない職業に誰もつきたいとは思わない。 もう一つは、長時間労働を解消して欲しい。子どもを寝かせてからでないと仕事ができないという実態が保母さんにはあるようだ。 夢をもって保母になりたいと思っている。その夢を砕くような実態があるので、しっかり解消して職員を増やすようにして欲しい。	意見として伺う。	
12	それぞれの地域に子育て文化があるはずなので、それを掘り起こして提唱や醸成をしていくことが必要だ。地域の子育て文化にもっと目を向けて欲しい。 地域コミュニティの中で子どもを育てていかないと子育て世帯だけが苦しむという状況になってしまう。自分は保育園をやっており、「子育てコミュニティの創造」をテーマにして、地域の方々と交流出来るようにしている。これを意識的にやっていくことが必要で、子育て環境ナンバーワンと胸を張って訴えていく基本にもなるのではないか。再編計画は、少子化や、幼稚園に入る児童数が少なく保育園は多いからという、単なる数あわせでは機械的な問題である。奥州市ならではの子育て文化をつくっていく必用がある。	意見として伺う。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
13	今、日本の幼稚園や保育園のスペースは世界一狭い。子ども一人当たり 1.98 ㎡で、スウェーデンやフランスでは 7 ㎡と全く違う。 今後、新しく園舎をつくるのであれば、フランス並みにして欲しいとは言わないが、せめて 3 ㎡位にするとか、お金を掛けるところには掛けてもいいのではないか。 園庭も日本では子ども一人当たり 3.3 ㎡である。当たり前なことではあるが、もう少し広いところで子どもたちが延び延び出来るように、大胆な発想をして欲しい。	意見として伺う。	
	＜地産地消推進条例について＞		
14	今年４月、国会において種子法の廃止が可決されたが、この条例にも影響が出てくるのではないか。 例えば、種子を多国籍企業に握られてしまって農家が納入出来ないとか、農事試験場や関連組織が縮小されてくるということが食の安全に影響してくると思う。 今まで公的に補償されていた種子の確保が出来なくなることを踏まえて、種子法の悪影響が出ないように市で可能な部分を対応して欲しい。	種子法の関係については、この間の検討には配慮されてこなかった。今後の委員会の中で、意見があったことを伝え検討していく。	
15	なぜ「わくわく条例」という名称になったのか。資料の中にある「地産地消推進条例検討委員会名簿」というタイトルを見て地産地消のことかと分かったが、「わくわく条例」では何の事か全く分からない。地産地消推進条例の方が分かりやすい。	当初は地産地消推進条例としてきたが、少し固いのではないかという意見や、関心をもってもらえるようなものにしていきたいという意見もありこのようにした。まだ決定したものではないので、意見として伺う。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
16	条例は国でいう法律にあたるもので、違反をすれば罰則があり警察の摘発対象になるものと認識している。今回このようなものを条例にするのは如何なものか。	条例は必ずしも罰則を与えるものばかりではない。今回のものも理念条例であり罰則を与えるものではない。	
17	名称は「地産地消推進条例」でいいのではないか。「わくわく条例」は不適切だ。	意見として伺う。	
	＜議会への意見要望・地域の諸課題について＞		
18	かつて奥州市は他から見ても魅力があり、市外から奥州市に来て活躍している方が結構いたが、最近そういう方はあまりいなくなってきているのではないか。 逆に、震災以降、出て行ってしまった方がぽつぽついると聞いている。 奥州市の魅力をアピール出来ていない部分や、若い人達に対して魅力に欠けている部分があるのではないか。 市外からどんどん転入をしてくるような、あるいはせっかく来てもらった方が転出をしていかないような奥州市を目指して欲しい。そういう危機意識を議員はもっているのか。	大切なことであり、議員もそのような意識は十分にもっている。市内には自分たちでは気づいていない宝があり、それをしっかりアピールしていく努力をしていかなければならない。	
19	新たな市の総合計画が出されたが、この間の議会だよりを見ても、この大事な件に関して何の発言がないのはおかしい。 随時、進捗状況についてチェックをしていくとともに、総合計画の賛否は僅差であったことから、今後も議論を深めて行く必要があるのではないか。	意見として伺う。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
20	議会として市民から意見を聞く機会をこのような懇談会だけではなく工夫をすべきである。 例えば、市では「奥州市民の声」という市政への提言を手紙で受け付けたりしている。それを真似してとは言わないが、議会なりに市民の声を収集する仕組みを検討してはどうか。	意見として伺う。	
21	議会だよりで市民と議員の懇談会があることを見てわくわくしながら来た。しかし、メインテーマが「子育て支援」や「わくわく条例」であり、我々市民と議員の感覚が少しずれていると感じた。 確かに子育ての関係も大事ではあるが、今、奥州市で一番何が大事かと考えた場合、病院の関係ではないのか。議会でその意見を聞かないというのは非常に残念に思う。新病院建設の問題について市民の意見を聞く必要があるのではないか。 市には自治基本条例や市民参画条例という条例がある。物事がある程度決まった段階で市民に説明をするのではなく、こういうことをやろうという段階から市民の意見を聞き市政に反映をさせるのが自治基本条例だと記憶している。病院建設の問題もその話しに入る前に、胆江医療圏の医療がどうあるべきかを市民と議論すべきだ。 新病院建設問題について、議会としても早い段階で市民の意見を聞く機会を設けて欲しい。本来は、今回がタイムリーな機会ではなかったのか。	意見として伺う。	

第 12 回「市民と議員の懇談会」概要　第 3 班　平成 29 年 11 月 9 日(木)　会場 前沢総合支所　No. 8

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
22	市長は市民が納得すれば病院建設を進めるとの公約を発表した。あるいは、議会や医師会の会合においても、再三、市民が納得すればとはっきり申しているが、病院事業管理者や院長と、市長の発言が微妙に食い違ってきている。また、医師会等の意見とも違っており、三者の意見が皆違ってきている。 議員は出てくる情報が足りないから十分な議論が出来ないと話しをしていると聞いているが、そうではないのではないか。三者がそれぞれ違うのであれば、議員は市民に変わって、三者の真意をしっかりと受け止めるべきである。それを市民に解説をしてもらい、はじめて市民は納得が出来るのか出来ないのかの結論が出せる。その市民の結論を議員は議会にもっていき、最終的に認めるかの重大な決断をすることになると思うが、議員は市民の意見を吸い上げようともせず危惧している。 水沢南地区で地域の方々が中心となり勉強会を立ち上げており第 5 回目が 11 月 16 日に開催される。ぜひ議員も参加してはどうか。 市民も真剣に捉えて勉強をしている方々がおり、議員からの情報を待っている。中心になるのは議員である。議員として今やるべきことをしっかりとやり、将来に渡る影響を真剣に議論をして欲しい。	議会では特別委員会を設置しており、その中で議論をしているが、その中身を市民にも報告をすべきという意見は賜っておく。 医師会が有識者会議に入らないことはご承知の事と思う。市長と病院管理者のニュアンスが違うこともその通り。 先日、３師会と議員有志の意見交換があり、その中で、３師会がなぜ市の有識者会議に入らないのかの説明があった。病院建設ありき、県との調整がほとんど出来ていない、２次医療圏をどうするのかといった、最初にすべきことがなされていないので入らないとのことだった。 特別委員会の中で、市長と病院管理者は、３師会が有識者会議に入らなければ進められないと明言しており、当初のスケジュールが 2 か月ほどずれてきている。 議員個々の意見はあるが、大きな関心事だと思うので、今後も特別委員会で議論をしていきたい。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
23	議員も一人ひとりがもっと問題意識をもつ必用がある。賛成や反対もあると思うが、どちらにしても奥州市百年の大計に類するような問題である。この問題については合併してすぐに、総務省のアドバイザーまで呼び、市が総力をあげて問題点を出したのにもかかわらず、10 年経っても何の手もつけられず、また同じような議論をやろうとしている。震災もあり、建物がガタガタになったことが、今、病院のメインテーマになってしまっている。 国は震災後に、全公共施設に対して 100％金を出して耐震復旧の予算付けをしたはずだ。衣川の庁舎については新たに建てることになったが、水沢病院はこれに手を挙げなかった。これは、水沢病院内部だけで決めたのではないかとのこと。改修は無理なので新築しかないとの結論を出したようだが、この結論を市が出したものであれば議会が何らかの形で関与したはずだが、その形跡が全くないことが極めて不思議である。 奥州市は耐震改修を拒否したわけなので、新たに建設することに対して議会は慎重に議論をする必要があるのではないか。 また、病院建設に対して国が 4 割の補助金を出すものを、単独でとなれば 2 割 5 分しか出ず、その差額の 1 割 5 分を市が損をすることになる。病院関係のコンサルの方からは、議会が市の案をそのまま認め病院が建設されたとすれば、住民訴訟になる可能性があると聞いている。1 割 5 分を放棄するだけの理由がきちんとあるのかを質す必用がある。 どちらにしてもしっかり議論をしていれば、市民は納得をする。納得できるようにすることも議会の仕事であり、議員一人ひとりがしっかりやって欲しい。	意見として伺う。	

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
24	議員個々の意見は色々とあると思うが、素人は混乱をしてしまう。大事な話は、ある一定の結論が出るまでは、話しをしないこともやむを得ないのではないか。何を話してもいいということではないと思う。今日のような懇談会の中では、どこまで話しをするか等を事前に議会として相談をしてくるべきではないか。	個々の賛成や反対はあるが、事実関係は隠さずに話しをして、市民が分かるように公開した方が良いと思う。	
25	自治区の廃止に伴い地域協議会も廃止となり、それに変わる「ちいきかいぎ」が設置されるようだが、議会としてはどのように捉えているのか。今の案では納得ができない。 振興会長だけの集まりになってしまう。地域をつくるのには、若い人や女性代表、商業代表など色々な方々が集まれる、今の地域協議会のようなものをつくって欲しい。また、地域の実態を踏まえた話し合いをして欲しい。	「ちいきかいぎ」の現在の提案内容について説明。 議会では現在も地域自治区特別員会を設置している。この間、市の提案を受け議論をしてきたが、再度、内容を整理したものを 11 月 16 日の特別委員会で説明を受けることになっている。また、11 月 18 日からは地域への説明会に入るので、その中でも地域の実態や意見を率直に出して欲しい。	
26	情報公開を徹底して欲しい。例えば、防災計画の中の防災マップが出たり削除されたりしている。調べたい場合は県のマップから取っているが、総合支所や地区センターも浸水想定地域内になっており、全く解消されていない。また、防災計画の被害想定との矛盾が解消されておらず、８年位前から指摘をしているが、答えがない。議会としてもチェックして欲しい。 また、情報公開を妨げるような圧力や動きは徹底して排除して欲しい。震災時、特に感じた。インターネットに載っていた放射能汚染マップが途中で無くなってしまった。政治的圧力が働いたとの噂も聞いた。風評被害があるから、そういうものは出さない方がいいという圧力が働いたとのこと。調査研究はしっかり奨励して情報公開は徹底して欲しい。	意見として伺う。	

第12回「市民と議員の懇談会」概要　第3班　平成29年11月9日(木)　会場　前沢総合支所　No.11

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
27	核のゴミ捨て場にはしないで欲しい。今、ＩＬＣ誘致でバラ色の夢みたいなことがどんどん出ているが、あれが相応しい場所というのは、先日政府が発表した核のゴミ捨て場にも非常に相応しいと思っている。 何でも光りと影がある。光にばかり目を向けないで、影の部分にもしっかりと目を向けて、議会としてのチェック機能を果たして欲しい。	意見として伺う。	

第 12 回「市民と議員の懇談会」 第 4 班報告書

1 開催月日	平成 29 年 11 月 9 日（木） 午後 6 時 05 分　から　午後 8 時 00 分
2 会場	胆沢総合支所　3 階　大会議室
3 参加者数	7 名 （内訳　男性 3 名　女性 2 名　議員・職員 2 名　）
4 出席議員	班長　佐藤　邦夫　議員 進行係　鈴木　雅彦　議員 説明係　今野　裕文　議員　鈴木　雅彦　議員 佐藤　邦夫　議員 記録係　今野　裕文　議員　佐藤　洋　議員 受付係　中澤　俊明　議員　佐藤　洋　議員
5 欠席議員	なし

6　報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7　反省点、次回の課題等

○　参加人数が支所長等を入れて 7 人と想像以上に少なかった。前回も反省点として発言しましたが、開催の呼びかけ、時間の設定や場所など市民との懇談会の在り方、持ち方を再考する必要があると感じました。

○　報酬や政務活動費のアップについて、いかがなものかとの意見を頂戴しましたが、議員活動や議会そのものの重要性、2 元代表制など、まだまだ市民に理解されていないと感じたので、議会としてその点を理解していただく活動がさらに必要と感じました。

第 12 回「市民と議員の懇談会」概要　第 4 班　平成 29 年 11 月 9 日(木)　会場 胆沢総合支所大会議室 №1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1.	自主財源比率について、市税収入をあげ、比率を上げる方策について、各議員がどのように考えているか伺いたい。	農業振興では米から園芸作物や畜産などに取り組み、税金を納めていただくようにすること、ＩＬＣの誘致をして工業振興を進め若い人の力を導入してもらいたいと思う。	
2.	産業振興やダム周辺開発を含め進めていただきたい。平場では、色々展開できるのではないかと思う。自主財源比率を 50%にもっていくには、極論をいえば、2 倍の収入を考えるか、運営経費を半分にすることを考えることが必要で、この比率をあげることを考えなければならないと思う。	各議員は、例えば胆沢ダムの観光振興を進めるべきだと言っているし、ふるさと市場のような産直を展開している。様々、皆で考えていく必要があると思う。	
3.	子育て支援について、婚活からスタートして結婚にもっていくことが必要だと考える。うちの孫は県立磐井病院にお世話になったが、これではまずいので、一体のものとして進めていけるよう、分かりやすい形で提示していただきたい。	当局に伝えたい。子供を市内で産めないのが現状だ。産婦人科のベッドは 48 床しかなく、やめる先生も想定される。岩手県は周産期で考えると県内 4 区分に分け産科医師を配置する方向である。県立磐井病院、県立中部病院での受け入れしかできないことから、その支援策を考えている。	
4.	区内では、子どもが遊ぶ場所がない。大きな公園がない。できたら、子どもたちが集まって遊ぶ場所がほしい。胆沢勤労者プールの廃止が言われているが子どもが遊べる場所として残してほしい。	学校の校庭の開放が考えられるのではないか。また、プールについては、事務事業の見直しの対象となっていることから、当局に伝えたい。	
5.	キッズクラブの場所があまりにも狭いことから、もう少し整備されたものが欲しい。(小学校の空き教室の活用を検討してほしい旨：閉会後の聞き取り）子ども同士の関係が希薄だと思う。あまりにも環境が違いすぎて、いじめに結びついているのではないか。	当局にとどけていきたい。	

6.	Ｚホールに高齢者の方がたくさん来ているが、一番安い席は 3 階だがエレベータがない。一番上までいってから、また 2 階席まで、急な傾斜を降りてこなければならない。高齢者の方は誰か一緒に行かないと席まで行けない。高齢者の方に「こんなところに 2 度とこない」と言われる。なんらかの手立てで高齢者も楽しめるようにしていただきたい。	もともと、緊急時の避難を考慮する必要があるため、高齢者等（歩行困難な方）を２階席に案内する設計になっていない。１階席の前の部分をフラットにすれば、車いすとかが入れるので、その部分を活用することが考えられる。エレベータをつけられるか、それができない場合、スロープで対応できないか確認をする。	調査回答を要する
7.	幼稚園、保育園について、こども園は保育の時間は同じなのか。	同じだ。	
8.	子どもが 3 人で、小学 4 年生、6 年生と年長だ。就学前の児童の医療費の助成はすごく助かっている。中学生になっても継続して欲しい。3 人いると、子どもの具合が悪くても、今日はお金がないから我慢してもらうということになる。一人は今度中学 1 年生になるので痛いなと思う。無料でなくてもいいから支援が欲しい。	議会でも、医療費助成の拡充を求める意見書を国に毎回提出している。現在市町村によってまちまちになっているので、その辺どうするのかが問題になる。中学校卒業までの無料化をはかりたい。	
9.	政務活動費について、資料は全戸に配布されたのか。2.5 倍にあげてほしいというが、市の財政について触れられていない。財政力指数が 0.4 で県内でも低い。市職員の給与は高卒、短大卒は県下最下位、一方議員報酬は県内 5 番目、定数も多い。旅行（議員研修）は 2 泊 3 日なのに、なぜこういうことになるのか。 佐藤氏の調査研究費は多いが、どういう風になっているのか。 『議会だより』の行政視察報告をみるとすべて 2 泊 3 日で行っている。こういう問題点があるので、そこをどうするかということで視察するようにしてほしい。	佐藤の場合、ふるさと納税事業の推進に取り組んでおり、政務活動費を活用して佐賀とかに行って研修してきたことを当局に提案しました。その結果、ふるさと納税額が数百万円だったものが 3 億円以上になっている。県庁に行って話をしたり、盛岡に行って学習したりしている。 政務活動費が１万２千円で良いということになれば、議員はそれしかしなくなる。 議員報酬については、報酬審議会の決定額の１割カットできている。同規模自治体では全国最下位にある。一般の職員に比べ相当低い。（平均より） いろんな問題を追及して市の役割を果たすには、活動しなければならない。議員は２４時間営業で、今の政務活動費では議員になる方は出てこないと思う。若い人に議会活動に参画してもらうため報酬の見直しを考えている。	

10.	今野議員に、共産党は、政務活動費の引き上げに賛成しているようだがどうか。国会では疑惑解明に力を発揮していると思うが、市議会ではそうなっていないのでないか。	現状の政務活動費では、どこにも足りないのが実態である。会派内の検討で賛成することとした。 疑惑究明については、法に基づいて行うもので、具体的に内容を示していただければ回答できる。	

第12回「市民と議員の懇談会」第5班報告書

1　開催月日	平成29年11月11日（土） 午前10時00分　から　午前11時46分　まで
2　会場	水沢南地区センター２階　和室
3　参加者数	25名 （内訳　男性　17名　女性　６名　議員・職員　２名）
4　出席議員	班長　及川　善男　議員 進行係　中西　秀俊　議員 説明係　千葉　正文　議員　加藤　清　議員 記録係　廣野　富男　議員 受付係　廣野　富男　議員
5　欠席議員	議員 議員

6　報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7　反省点、次回の課題等

①活動の活発な地域での開催のためか、水沢会場としては参加人数や発言数も多いと感じた。70代が大半であったが５名の女性の参加が得られ、時に特定の団体に参加要請する方法も検討しては。

②今回のテーマを「子育て支援」に選定し、子育て中のお母さんが参加しやすいよう環境（託児所と支援員）を整えたが、残念ながら利用するお母さんの出席がなかった。参加者からの意見の中に、どうしたらお母さんたちの参加が得られるか、参加者全員に意見を求める姿がありましたが、「集める」から「出向く」懇談会にテーマや対象者によって検討する必要があるのでは。

③急遽、おうしゅうわくわく条例案の取組経過とその内容について説明をした。参加者からは概ね賛意を示されたが、時間的制約があったにせよ、議員全員への事前説明をせずパブコメを行ったことは、日頃批判をしてきた行政手法を公然と議員自ら実行し前例をつくったことを、大いに反省すべきではないか。（記録者の私見）

第12回「市民と議員の懇談会」概要　第5班　平成29年11月11日(土) 会場 水沢南地区センター　No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	子ども子育て支援について ①市立教育・保育施設再編計画により、すでに統廃合が進んでいる。もっとタイムリーに説明すべきであり、ハード優先だけでなく、ソフト面でどの様に対応するのか示すべきではないか。 ②保育士不足対策として、公立と市立の格差を縮め、待遇改善に努め、良質な保育士を確保すべきではないか。 ③子育てナンバーワンの位置づけが不明。スローガンの真髄を示してほしい。いま現場では給食時に昼食を食べれない子どもが多くなった。子育てでどう組み入れていくのか。 わくわく条例について 食（農産物）だけでなく、工業・商業に広げては。例えばトヨタ自動車をみんなで購入し働く場を支援するなど商工業の活性化に取り組むべきでは。	①当計画は教育委員会で機関決定したものである。再編計画はコンクリートではない、改めるべきは改めると当局は答弁している。議会としても予算決算委員会等で質して行きたい。 ②市は、施設間のバラつきはあるものの公立で不足していると説明している。しかし、公立・私立間の環境・待遇に乖離があり、市が待遇改善を推し進めると私立から人材が流れてしまうとの指摘がされている。検討したい。 意見を議会の中で議論をしたい。	
2	保育士不足について 大船渡では退職した保育士や助産師を活用し妊娠中の方のサポートや子ども預かり（ゼロ歳から0.5歳児）・居場所づくりが取り組まれている。ＮＰＯや民間をもっと活用しては。 地産地消について 中央大学の中澤先生の依頼で、今年の１月から３月にかけて地元の食品や地元で生産された日用雑貨等がどれだけ地元消費されているか消費動向調査を行ったところ１割もなかった。殆ど野菜しかない。なぜ、地場のものが買い辛いのか。買える工夫を。	地区センターを活用した居場所づくりが必要だ。 地物産がどれだけ買ってもらっているのか市にデータがないのにビックリした。農産物以外の「地元産品」を扱う工夫も心掛けたい（研究したい）。具体的には来年４月以降に動き出す（事業計画策定）のでそのつど意見を出してほしい。	

第12回「市民と議員の懇談会」概要　第5班　平成29年11月11日(土) 会場 水沢南地区センター　No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
3	①人口推計が載っているが、政策による人口動向を掴かんでいるか。 本市の産業政策はだめ。回復させるべき。 ②教育・保育施設再編により、勤務地が離れ遠くなると父母は大変。利便性についての資料はあるのか。	①想定を超える減少が進んでいる。社人研を下回るのでは。政策による推計はしていない。 同感である。市長選の争点になるのでは。総合的な政策を打たないとダメ。議員としても今後の方法を示したい。 ②再編により通う距離は遠くなるのでは。	
4	重度の医療費助成は心身とも重度でないと受けられない。精神障害等級１級の発達障害を持つ小学生がいるが、是非医療助成を受けられるようにしてほしい。	現状が分からないので勉強したい。	直接担当課から本人に回答すべきか、本要望を議会として行政に要望すべき案件か判断を要する。 ①詳細を掴めていないので、本人からのより詳しい情報が必要。 ②本市の小学生医療助成には該当するはずだが、重度障害者医療助成補助制度による全額支援？を望み、本市の制度（精神障害者は記載なし）そのものを見直し希望しているのか。一方本市で精神障害者を含めていない理由の把握、現状把握が必要ではないか。 その上で、議会として対応を協議する必要があるのでは。

第12回「市民と議員の懇談会」概要　第5班　平成29年11月11日(土) 会場 水沢南地区センター　No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
5	①財政が豊かなら良いまちになったのではないか。そもそも行財政改革のため合併したはず（いっこうに改善されていない）。今議会で行財政改革に対する一般質問がないが。 ②自治区問題は10年前合併協議の際決めたことを今、長々と議論している。これまでに、自治区がなくなったら如何するかを論じてくるべきではなかったか。何をするにも全てにおいてタイミングがズレている。 ③水沢病院を存続するのかどうか市民に明らかにすべき。新築後、医療収支はどうなるのか。現在、市の繰出しにより黒字化にしているが、今後、収支改善するために税金投入を何処まで認めるのか議論すべきだし、新築は市民が納得できるものにしてほしい。	①市民から不十分と見られるかもしれないが決算審査等で議論している。 ②自治区のあり方について、議員間の捉え方・認識は違っている。しかし、自治区問題は3年前から議会は市に対し指摘をしてきたが市は先送りしてきた。指摘の通り遅い対応と思っている。同感だ。 ③市長は水沢病院の改築を前提としている。市から繰出金等計画提案がされた後に議会での議論がされると思う。しかし、今の進捗状況から見て、来年２月の改選前に市民に提示できる状況にはないと思う。	
6	教育・保育施設再編の方向性・目的は賛成だが、子育て中の保護者によって違うのでは。この場に顔を出して（意見を述べて）ほしい。どうしたら出席できるのか。どうにかならないか、策はないのか。	学校行事等に出向くしかないのではないか。 当調査会でも今後のあり方を検討したい。	
		御礼 いただいたご意見は当局に伝え、我々議員は今後の議会活動に活かしたい。	

市民と議員の懇談会

市民と議員の懇談会

市民と議員の懇談会

市民と議員の懇談会

市民と議員の懇談会
佐藤 洋
中澤俊明

市民と議員の懇談会

市民と議員の懇談会

千葉正文

千葉正文
及川善男

2017 奥州市議会

～議員26名が5班に分かれ、
各会場を担当します～

市民と議員の懇談会

奥州市議会は、平成21年９月制定した「議会基本条例」に基づき、「市民の意見を市政に反映させる」「しっかりと討議する議会」「市民に開かれた議会を目指す」を議会活動の３つの柱とし活動しております。

この市民と議員の懇談会は、市民が議会を身近に感じてもらうために開催しているもので今回で11回目の開催となります。

当日は次の内容により開催しますので、多くの皆さんの参加と貴重なご意見・ご提言をお待ちしております。

～どなたでも、お好きな会場に参加できます～

懇談テーマ

「子ども子育て支援について」

・９月定例会の報告

・議会に対する意見要望、地域における諸課題等

月　日	時 間	班	会　　場
11月７日（火）	18:00～20:00	1	江刺総合支所１階 多目的ホール
		2	衣川保健福祉センター 多目的ホール
11月９日（木）		3	前沢総合支所４階 401大会議室
		4	胆沢総合支所３階 大会議室
11月11日（土）	10:00～12:00	5	水沢地区センター 第１・2会議室

今年二月に開催した様子

主　催：奥州市議会市政調査会

問合せ：奥州市議会事務局［電話24-2111(内線612)］

↓ 班編成

【1班】 11/7(火) 江刺総合支所

菊池利美(水沢区)

及川佐(江刺区)

髙橋政一(胆沢区)

阿部加代子(水沢区)

菅原明(衣川区)

小野寺重(前沢区)

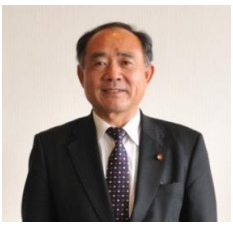
【2班】 11/7(火) 衣川保健福祉センター

千葉敦(江刺区)

飯坂一也(前沢区)

小野寺隆夫(胆沢区)

千葉悟郎(水沢区)


渡辺忠(胆沢区)

【3班】 11/9(木) 前沢総合支所

菅原圭子(前沢区)

菅原由和(水沢区)

佐藤郁夫(江刺区)

藤田慶則(胆沢区)

内田和良(水沢区)

【4班】 11/9(木) 胆沢総合支所

鈴木雅彦(前沢区)

佐藤洋(水沢区)

中澤俊明(水沢区)

今野裕文(胆沢区)

佐藤邦夫(江刺区)

【5班】 11/11(土) 水沢南地区センター

廣野富男(江刺区)

千葉正文(水沢区)

加藤清(胆沢区)

中西秀俊(江刺区)

及川善男(水沢区)